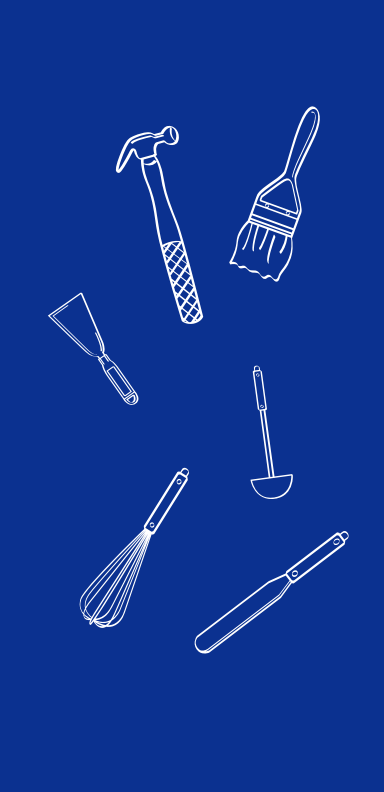


時代と共に生きてきた職人の技

ハマの職人

ハンドブック



はじめに

私たちの身近にあり、私たちの生活や文化を直接支えている、手仕事・手作業を主体とした職業を「技能職 (= 職人)」と呼びます。

横浜の技能職は、その多くが開港やそれに伴う貿易・産業の発展とともに、外来文化の影響を受けながら発展してきました。クリーニング・洋裁・理容・塗装・写真などは、横浜を発祥の地として、その技術が全国に広まった技能です。

こうした技能を守り育ててきた技能職の方々を取り巻く環境は、時代とともに変化しています。現在、多くの業種で機械化・組織化された生産方式、機能と価格を重視した製品やサービスの提供が主流となっています。

しかし一方では、手仕事・手作業の中でも優れた技能によって生み出される質の高い製品やサービスには根強い人気があります。

優れた技能が継承され仕事として続けられていくことは、豊かな生活にとって大切であるとともに、地域文化の多様性を将来に向け橋渡ししていくためにも必要なことです。

この冊子では、衣(装う)・食・住・生活(暮らす)の各分野で活躍している様々な技能職の仕事の内容やその職業に就くための情報を紹介しています。

この冊子が、技能の仕事に関心を持つきっかけとなり、職人を目指す若者が、一人でも増えてくれることを期待しています。

目次

装 う	クリーニング…………… 4	婦人服 …………… 7
	紳士服 …………… 5	理容 …………… 8
	美容 …………… 6	和裁 …………… 9
		
食 べる	西洋料理 …………… 11	
	豆腐 …………… 12	
	洋菓子 …………… 13	
		
住 む	建築士 …………… 15	建具 …………… 20
	建築大工 …………… 16	塗装 …………… 21
	左官 …………… 17	鳶 …………… 22
	造園 …………… 18	板金(建築板金) …… 23
	畳 …………… 19	表具 …………… 24
		
暮 らす	印章彫刻 …………… 26	鍼灸マッサージ …… 29
	屋外広告 …………… 27	スクリーン印刷 …… 30
	写真 …………… 28	
		
<hr/>		
横浜発祥	職業はじめて物語 …………… 31	
	横浜市技能職団体連絡協議会団体一覧 …………… 33	

装う

クリーニング

紳士服

美容

婦人服

理容

和裁



人々が生活する上で欠かせないもの。

着たり、整えたり、楽しんだり、
自分を表現する手段だったり。

文化は進んでも、根底の思いは変わりません。

日本の「装い」を支える
職人の技をのぞいてみましょう。



クリーニング

装

衣類の洗浄を行う専門職。愛着のある依頼品を、素材や状態に気をつけながら汚れを落とし、風合い良く仕上げる。



ここに技あり!!

積み重ねた知識と経験を総動員し、油汚れからシミ・匂いまで汚れの性質を見抜き、様々な道具を駆使して汚れを全て落と

します。長く着込んだことで形が崩れてしまった衣類も、クリーニングの必需品であるアイロンやスチームをかけることで下ろし立てのような仕上がりにも再生させます。

クリーニングの仕事は、お客様から預かった大切な衣類などを、それぞれの素材や汚れに適した方法で洗濯し、乾燥させ、アイロンで仕上げてお返しするというものです。必要に応じてしみ抜きや補修も行います。水洗いのほかにも、有機溶剤を使ったドライクリーニングやドライと水洗いを合わせたダブル洗い、皮革製品や毛皮などの特殊洗い、専用台を

使った立体的なアイロン仕上げなど、家庭ではできない熟練したプロの技術と知識で衣類を守ります。

クリーニング店では、お店に必ず1名以上の「クリーニング師」を置くことが法律で義務づけられており、各都道府県知事が毎年行う国家試験に合格した者だけがその職業に就くことができます。

仕事の魅力

日常生活にも応用できる実用的な洗濯の技術を身に付けることができます。「きれいにしてくれてありがとう」。この仕事に就いてよかったと思う瞬間です。きれいな好きな人には、ぴったりの仕事です。

●学ぶ

組合で開校しているクリーニング専門学校

●磨く

国家資格:クリーニング師免許
店の規模により、危険物取扱者、ボイラー取扱者、有機溶剤作業主任者などの資格が必要

●活かす

クリーニング店や工場で技術を学び、免許取得後は開業もできる。



しんしふく

紳士服

装

ひと針ひと針、丁寧に縫い上げるオーダーメイド仕立て。
既製品では味わえない着心地と満足感を約束する。



ここに技あり!!

単純に左右対称に作るのではなくお客様の体型をすみずみまで測り、必要があれば寸法に変化をつけたり、体型のバランス

に合わせてアイロン操作で生地を立体化させるなどの技術を加えることで、その人だけに合わせられたデザインと着心地を兼ね備えた世界に一つだけの洋服を提供します。

主な仕事はオーダーメイドと呼ばれる注文服の仕立てです。お客様の希望のスタイルをしっかりとヒアリングし、デザイン、採寸、型紙作り、仮縫い、本縫いの工程を経て、その人の体型と好みに合わせた洋服を作り上げます。ほとんどの作業を手縫いで行います。背広の三揃いをマスターし、コートやタキシードまで縫い上げるには、さらに高度な技術が

必要です。一通りの技術・知識を身に付け、一人で仕事をこなせるようになるまでにはおおよ10年程度の修行が必要です。

職人の手作業により生まれた、その人のためだけの「一点もの」の紳士服は、体にしっかりとなじみ、既製品では得られない着心地を約束してくれます。

仕事の魅力

流行最先端の洋服を自らの手で制作できることは大きな喜びです。ファッションを通して、様々な業種の方々と交流をもつこともできます。技術とやる気があればデザイナーなどの様々な道を開くことができます。

● 学ぶ

服飾系の専門学校や大学、職業訓練校など

● 磨く

技能検定：紳士服製造技能士1～2級

● 活かす

テーラーや紳士服メーカーなどに勤め、技術を積めば独立開業も可能。コンクールなどで成績を残せば、海外での活躍も期待できる。



びょう 美容

装

ヘアスタイルを中心に、メイクやネイルなど総合的に求められる「美」を提案。確かな技術で、希望のスタイルを提供する。



ここに技あり!!

十人十色、それぞれ思い描く理想が異なります。ハサミだけではなく、すきバサミやレザー、アイロンなど様々な道具を使いこ

なして施術します。また、髪質や洋服の好み、全身のバランス、お客様の気分に至るまでしっかりと把握し、その時、その人に合った最良のスタイルを提供します。

ヘアカットやパーマ、スタイリング、カラーリングなどに加え、店舗によってはメイクや着付け、ネイルケアまで行うこともある美容師。お客様の希望に沿うヘアスタイルに仕上げるだけでなく、スタイルの提案やアドバイスをすることもあります。それだけに、技術力や接客力に加え、トレンドや美を敏感に感じ取るセンスが求められます。

美容師になるには、美容専門学校で規定の課程を修了し、国家試験に合格することが必要です。卒業後は見習いとしてシャンプーなどから担当し、お客様のカットやパーマを任せられるようになれば、ヘアデザイナーとして自分の個性やセンスが発揮できる職業です。

仕事の魅力

後進を育てることはとても大変ですが、全ては出会いであり、人を育てることは自分の成長にもつながります。数多くある美容院の中でも「ここを選んでよかった」と思っていたら、日々努力しています。

●学ぶ

美容専門学校(2年間、通信制の場合は3年間)

●磨く

国家資格(必須):美容師免許

従業員2人以上の美容所の開設には、管理美容師の資格が必要

●活かす

美容室で経験を積み、独立開業するほか、芸能関係やショーのヘアメイク、各種コンテストや海外など、活躍の場は幅広い。

人それぞれの好みや体型に合わせて、流行のデザインや機能性に富んだ一点物(オートクチュール)を仕立てる。



ここに技あり!!

目に見える部分だけではなく、その人の使用用途や生活スタイルなども丁寧にヒアリングしながら、ただ単にお客様から求め

られたものを作るのではなく、服の着心地や飽きずに長く着られるものがあるかなども重視してデザインし、そのお客様のための洋服を仕立て上げます。

港町である横浜に外国由来の文化が輸入され、国内における洋服の需要が増加したことからこの仕事が生まれました。

お客様の希望やイメージに合わせてデザインを決め、採寸、型紙作り、裁断、縫いの作業を行って、一着の婦人服を仕立て上げます。その工程の大部分は手作業によって進められます。

製図や縫製などの基本的な技術や知識を習得し、数を作れるようになるにはおおよそ10年程度の修行が必要です。ブラウス、スーツからフォーマルドレス、ウエディングドレスまで、全体のバランスはもちろんのこと、裏地や袖のボタンなど細部にまでこだわって、着る人のことを考えたオリジナルを作ります。

仕事の魅力

思い描くデザインを、自らの手で形として生み出せることに、大きなやりがいを感じています。忍耐力が必要ですが、完成品を試着したお客様の満足した顔を見られたときの喜びに勝るものはありません。

● 学ぶ

服飾系の専門学校や大学、職業訓練校

● 磨く

技能検定:婦人子供服製造技能士1~2級

● 活かす

アパレルメーカーや洋裁店で技術を磨き、開業するほか、洋裁教室を開いて指導する道もある。

りよう 理容

装

カミソリを使った「シェービング」は理容師のみが扱える技術。人々の身だしなみを整え、床屋（とこや）の愛称でも親しまれる。



ここに技あり!!

カミソリを使って不要な毛を剃り整える「シェービング」は、理容師のみが行える専門の技術です。この技に惹かれて理容店

を利用する人も多く、最近では眉毛カットやブライダルエステシェービングを求める女性客も増えるなど、その需要が高まっています。

ヘアカットやシャンプーに加え、パーマやカラー、メンズ・レディースの顔そり、眉毛カットを行う理容師。男性特有の髪型はもちろん、女性のスタイリングも得意で、最近は毛髪診断、エステ、ヘッドスパなども取り入れ、男女を問わず幅広い層の集客を図っています。

理容師になるには、理容専門学校で規定の課程を

修了し、国家試験に合格することが必要です。おおむね1～2年で道具の知識やシェービングの技術を学び、3年目くらいからお客様にカットを行えるようになります。

横浜は理髪店発祥の地であり、変化する流行やお客様のニーズに合わせたスタイルを提供するために、常に技術とセンスを磨くことが必要です。

仕事の魅力

技術だけではなく接客力も求められる仕事です。美を売る仕事であるという意識を持ち、見た目も常に磨き続け、笑顔も絶やさないよう努力しています。仕事を通じて、人間としても大きく成長できます。

●学ぶ

理容専門学校(2年間、通信制の場合は3年間)

●磨く

国家資格(必須):理容師免許
従業員2人以上の理容所の開設には、管理理容師の資格が必要

●活かす

理容店で経験を積み、独立開業も可能。全国大会、世界大会などでの活躍も期待できる。

わさい 和裁

装



古来、受け継がれてきた日本の伝統衣装「和服」。
一枚の生地(反物)から、美しい着物を縫い上げる。



ここに技あり!!

着物は、表から見ても縫い目が見えません。それは柄にズレが生じないように重ねて縫う緻密な作業があって初めて成り立

ちます。一見派手で複雑な柄の方が難易度は高そうですが、実はごまかしが効かない分シンプルな反物の方が難しい作業です。仕立てた際の柄の配置も常に意識します。

日本の伝統衣装の「和服」を仕立てるのが和裁士です。反物と呼ばれる細長い1枚の生地から、色柄の配置などを考慮して、一針一針すべて手縫いで1枚の着物を完成させます。

着物はほとんどが直線縫いのため、基本の運針をいかにまっすぐに縫えるかが重要です。和裁学校などで着物や反物の知識や技術を学び、一人前になる

までにはおおむね5年を要します。技術を積み重ねれば花嫁衣装も縫えるようになります。

成人式、卒業式、結婚式には、和服を着ることが多く、最近は若い人たちが浴衣を着ることも増えています。手先の器用さだけでなく、高価な反物を丁寧に扱わなければならないなど、繊細さも求められる仕事です。

仕事の魅力

反物作りには、生地を織る・染める・作るなど、それぞれの工程に多くの職人がかかわります。反物の素材の魅力を最大限に活かし、着物の美しさを表現することが、和裁の最大の魅力です。

● 学ぶ

専門学校や和裁教室、和裁所に見習いに入る。

● 磨く

技能検定:和裁技能士1~3級

● 活かす

呉服店や仕立て屋に勤務するか、個人で仕事を請け負い自宅で和裁を行うこともできる。展示会や指導・講演で全国的に活躍する人もいます。

食べる

西洋料理

豆腐

洋菓子



健康な生活は、健康な食事から。
日々の豊かな暮らしは、その一口から。

日本の食文化を支え、人々の活力を満たす。

今日を生きる元気を生み出すのは
磨き抜かれた職人の腕。

せいようりょうり

西洋料理

食

様々な料理を創りだし、彩りを添えて、お客様を楽しませる。
数あるジャンルの中でも、洋食を主に提供する。



ここに技あり!!

様々な調理器具を使い、世の中にあふれる多種多様な食材の中から味、香り、見た目、色などの要素を最大限に活かした組み合

わせを探し出し、料理を創り上げていきます。味だけでなく見た目にも鮮やかなシェフの感性が込められた一皿は、芸術品と称しても良い一品です。

レストランやホテルで、洋食を調理し、お客様に提供するのが西洋料理人です。

調理の仕事は免許がなくてもできますが、「調理師」と名乗るには、国家資格である調理師免許を取得する必要があります。

最初のうちは、食材の準備、下ごしらえ、道具の手入れや厨房の掃除などが、主な仕事となります。

これらをきちんと覚えることが、一人前になる早道です。実力を認められれば、厨房を取り仕切る料理長となり、メニュー開発なども任せられ、店の顔と呼ばれる重要なポジションに就くこともできます。

料理人にゴールはなく、調理技術や専門的な知識、料理を盛り付ける美的センスなどを常に磨き続けることが大切です。

仕事の魅力

特別なイベントに、自分の料理で彩りを添えられるのは大変光栄なこと。料理を通じた人とのつながりは一生の宝物です。知識欲と探究心を持ち続けながら、自分が創作した味でお客様に喜んでもらえるのが一番の魅力です。

● 学ぶ

調理師専門学校(修了すると調理師免許が取得できる)

● 磨く

国家資格:調理師免許
技能検定:専門調理師・調理技能士
栄養士、管理栄養士
開業するには食品衛生責任者の資格が必要

● 活かす

レストラン、ホテルの厨房で修業を積み、独立開業も可能。



とうふ 豆腐

食

昔と変わらない製法で作られる、日本生まれの伝統食品。
栄養価の高い大豆を原料に、健康食品としても注目される。



ここに技あり!!

主原料の大豆やにがりとは多種多様な種類が存在し、それぞれに最適な処理方法が違います。また豆腐は非常にデリケートな食

材のため水温や外部刺激、衛生管理などに気を配って作業します。日々の研究を怠らず、試行錯誤を繰り返しながら、日本が誇る食材が生み出されています。

昔ながらの製法の豆腐作りは、早朝から始まります。水につけた大豆をつぶし、茹でて漉すと豆乳ができます。その豆乳に「にがり」（海水からとれる凝固剤）を入れて固めると豆腐が出来上がります。口当たりの違う、絹ごし、木綿、おぼろ豆腐などの種類があります。揚げたての油揚げや厚揚げ、しばりたての豆乳や、豆乳を絞ったあとにできる「おから」

なども製造・販売しています。

やる気があれば、1年程度で基本的な技術や知識を覚えられますが、自分なりの味を出すには、かなりの経験と研究の積み重ねが必要になります。

工場生産の豆腐が出回る中、素材や製法にこだわった手作り豆腐は、大豆本来の味を引き出し、添加物を使わない健康的な食材として注目されています。

仕事の魅力

仕事へのこだわりは「おいしい」と言われる商品を作り続けること。年末年始には「この豆腐じゃないと」と毎年購入してくださるお客様もいます。添加物を使用しない昔ながらの製法には今も根強い需要があります。

●学ぶ

豆腐店などに入って直接技術を学ぶ

●磨く

開業するには食品衛生責任者の資格が必要

●活かす

豆腐店で経験を積み、独立開業も可能。
一般家庭向けの販売だけでなく、学校給食や病院、飲食店などへも食材を提供。



ようがし 洋菓子

食

パティシエとも呼ばれる。デザートやケーキなど多種多様なスイーツを製造する、洋菓子作りのスペシャリスト。



ここに技あり!!

溶かしたチョコレートで文字を書く、熱した飴を使用して彫刻を創作する、クリームとフルーツで色鮮やかな色彩を生み出す

など巧みな技術を用います。さまざまな道具・材料を自在に探り、アートともいえる品々を作り上げるパティシエの技は、人々の目を大いに楽しませ、舌を満足させます。

「パティシエ」という呼び名が定着した洋菓子職人。ケーキやデザートなどの洋菓子を専門に作る仕事です。洋菓子ごとに材料、分量、手順、調理時間などが違うため、それぞれの作り方を正確に把握し、温度にも注意して作業を進めます。目にも美しいケーキなどを仕上げるため、丁寧に材料を扱う繊細さと美しく飾り付ける美的センスが必要で、新しい

洋菓子を生み出す創造力も求められる職業です。

仕事をするのに必須ではありませんが、国家資格である製菓衛生師という免許があります。

個人差はありますが、一通りの作業を覚えるまでには、おおよそ3年程度の修行が必要とされています。女性の職人が多く活躍するのも特徴の一つです。

仕事の魅力

数ある仕事の中でも一番幸せを感じられるのは「ウェディングケーキ」を喜んでもらえる時。思い通りの味が完成したとき、形のないものから創造する楽しさは、パティシエの最大の魅力です。

●学ぶ

調理師専門学校、製菓専門学校(修了すると国家試験の受験資格が得られる)

●磨く

国家資格:製菓衛生師免許
技能検定:菓子製造技能士1~2級

●活かす

レストラン、ホテル、洋菓子店などで技術を磨き、独立開業の道も。コンテストなどで技術が認められれば、国内外で活躍できる。

住む

建築士	建具
建築大工	塗装
左官	鳶
造園	板金(建築板金)
畳	表具



思い出の場所や日常の風景。
楽しい食卓や家族とのだんらん。

大切な場所から生まれる幸せという名の時間。

住むこともまた、生きるということ。

何気なく暮らしているその空間は
職人たちの技術と思いの結晶。



けんちくし

建築士

住

建物全般の核となる「設計」を主軸に、工事が図面通りに行われているかを確認する「工事監理」等を行う。



ここに技あり!!

安全性、予算、敷地面積、デザイン、その他諸々、家を設計する条件は様々であり、同じ条件の物件は2つとしてありません。

お客様の希望に沿いながら、流行や自らの提案を加えた一つ先の満足を感じてもらえるよう意識し、それぞれの要望に応えた様々な建物を設計し、施工を導きます。

建築士は、住宅や店舗、学校など、建物を設計する仕事です。建築物のデザインや構造を考えて設計図を描きます。建築工事は大工など複数の職人が施工するため、設計図通りに建築されているか、現場を確認するのも仕事の一つです。

「建築士(1級・2級・木造)」という国家資格が必要で、その種類によって設計できる建物の規模な

どが決まっています。

基本的な知識や技術を取得するまでには5年程度の勉強が必要であり、アイデアを実現する創造力などのクリエイティブな能力が求められる職業です。また、建築士として活躍していけば、建物だけでなく、都市計画や街づくりなど、地域環境の設計を任されることもあります。

仕事の魅力

人が安心して暮らせる家を設計する建築士の仕事は、理工的なセンス、芸術的なセンスが求められます。数ある建物の中でも、十人十色の思いが込められる住宅の設計に、一番のやりがいと面白さを感じます。

● 学ぶ

建築系の大学・専門学校・高校など

● 磨く

国家資格(必須):建築士(1~2級、木造)

● 活かす

設計事務所や建設会社などに勤務するか、個人事務所を開く道もある。一級建築士になると大規模な建築物の設計を任されることもある。



けんちくだいく 建築大工

住

主に、木造建築の施工やリフォームを行う。
指導的な立場になると「棟梁(とうりょう)」とも呼ばれる。



ここに技あり!!

大工の7つ道具(さしがね、すみつば、ちょうな、かなな、のみ、のこぎり、かなづち)を中心に様々な道具を自分の腕のように

操り、複雑な作業をこなしていきます。棟梁を中心に、卓越したチームワークで、設計・施工だけではなく建物全般の問題を解決しながら建物を作り上げていきます。

建築大工は家を建てるのが仕事です。木造建築物の新築、リフォーム、修繕工事などを施工します。

木材などの材料を加工し、土台から骨組み、屋根や壁、天井などの下地を作ります。内装の段階では、他の専門の職人が施工するなど、現在では分業化が進み、いろいろな職人の協力で1軒の家が完成します。「棟梁」と呼ばれる親方は、現場を統率し指揮す

るリーダーとして、重要な役割を担います。

7年程度で一人前と呼ばれるようになり、9~10年程度で独立する人もいます。

近年は、工場で裁断・加工された木材や電動工具を使用したり、コンピュータで設計図面を描いたり、伝統的な大工仕事から変化しつつあり、技術の進歩や多様化に柔軟に対応する能力が求められます。

仕事の魅力

茶室など、一般的な住居とは異なる施工には、独特な空間ゆへの難しさがあります。何も無い場所に物が建つことで、平面だったものが立体となって地図に残ります。身体を使って行う手仕事に、大きなやりがいを感じます。

●学ぶ

建築系の大学・専門学校・高校など
横浜建築高等職業訓練校

●磨く

技能検定:建築大工技能士1~3級 建築施工管理技士1~2級
建築士

●活かす

工務店や建設会社に就職し、一般住宅の建築やリフォームなどを施工する。
棟梁になると建築現場を統率する役割を担う。経験を積んで独立開業も可能。



さかん 左官

住

自然の力を活かした天然素材で、建物の壁面や床、天井などの塗り仕上げをする。愛用の鍔（コテ）とコテさばきが職人の命。



ここに技あり!!

線を入れてアクセントを付けたり、ひねりを加えて波状に形取ったり、回転させて渦状の模様を描いたり。壁や天井を自在に

装飾し、模様だけでなく、雰囲気に合わせて色調も考慮し、思いのままに空間を作り上げます。左官は、壁をキャンパスとしたアーティストとも言えます。

建物の壁や床、天井などをコテと呼ばれる道具を使って塗り仕上げる仕事を左官と言います。

あらゆる技術が機械化される中、左官の作業は手作業でしか行えません。何百種類とあるコテを自在に扱い、色や模様など多種多様な壁面を作り上げます。漆喰（しっくい）や珪藻土（けいそうど）などの天然素材を使った壁は、部屋の温度や湿度を調整し、

体に優しいため、近年、左官仕上げの塗り壁が見直されています。

基本的な技術、材料の知識や調合、塗りなどの作業を覚えるには5年程度の経験が必要です。その後、現場作業を通じて材料を活かす技術などを学び、さらに10年程度の修行を積んで、初めて一人前と呼べるようになります。

仕事の魅力

建物、お客様の希望、コテ、材料、最上の効果を得られる組合せを見極めます。目に見える仕事を手掛けられるのは大きな魅力。業界では「隅をみれば仕事分かる」と言われているため、細部にもこだわって作業します。

● 学ぶ

職業訓練校など

● 磨く

技能検定:左官技能士1~3級

● 活かす

左官店で経験を積み、独立開業も可能。

一般住宅からビル、寺院、茶室、洋館などあらゆる建物で技能を発揮できる。



ぞうえん

造園

住

住宅の庭や公園など、様々な庭の設計や施工、植木の剪定などの補修、管理を行う。茶室には欠かすことのできない、日本の美。



ここに技あり!!

人が手を加えずともそこに存在する風景が織り成す「自然美」、人が手を施すことで新たに生み出される調和による「形式美」。

その両方の魅力がバランス良く組み合わさったデザインを考え、それを具体的な形として表現する技術は古くから日本人に愛されてきた歴史ある技術です。

「庭師」とも呼ばれ、日本庭園の文化を支えてきた職業です。庭園のデザイン設計、施工から剪定などの維持管理を行います。公園、街路樹、緑地帯等の植栽・管理も手掛けます。

多種多様な樹木の特性を覚えるだけでなく、石の知識も欠かせません。日本庭園には石や灯ろうを配置したり、敷石や石積み壁なども施工します。ほか

にも垣根、池、噴水など様々な要素があり、幅広い知識と技術が必要となります。また、美しい庭を作るためには、美術的なセンスも必要です。

道具の使い方から基本的な技術まで全て身につけて一人前と言われるには、15～20年程度の経験が必要です。近年はガーデニングブームなどあって女性の技術者も増えています。

仕事の魅力

庭作りでは、大きさなどの見た目だけではなく、作業時の気候や過去・未来の季節も考慮します。自然と向き合うがゆえに二つとして同じものが無いため、常に勉強が必要です。理想の庭が完成した時は、感無量です。

●学ぶ

造園系の大学・専門学校
職業訓練校

●磨く

技能検定:造園技能士1～3級 造園施工管理技士1～2級
土木施工管理技士1～2級 樹木医

●活かす

造園会社や建設会社に就職し、一般住宅の庭をはじめ、寺社、学校、ゴルフ場、公園、庭園など、活躍の場は幅広い。経験を積んで独立開業も可能。



日本の生活を足元から見守ってきた畳。い草などを用いて、製造・設置から補修まで、畳に関する仕事を一貫して手掛ける。



ここに技あり!!

同じ大きさでも、部屋の形はそれぞれ違います。畳は少しでも大きさがズレたら設置できない大変デリケートなもの。

そのため、製作をする際には数ミリの誤差も出ないよう細心の注意を払います。最後に配置が完了するまで気が抜けなくても繊細な作業です。

畳は日本固有の床材で、い草で出来ています。その畳の製造と修繕を行うのが畳職人です。

新たに畳を作るだけでなく、畳の芯を再利用して畳表と縁(へり)を張り替える「表替え」や「裏返し」という加工も行います。畳を部屋に隙間なく敷き詰めるため、ミリ単位の誤差も生じないよう、製作の際は緻密な作業が求められます。

昔はすべて手作業で行っていた畳作りも、近年出回っている外国産や新しい素材に対応するため、機械作業を取り入れるなど、技術も変化しています。

基本的な技術や知識を習得し、一通りの作業を覚え、一人前と呼ばれるには最低5年～10年程度の経験が必要とされています。

仕事の魅力

伝統的かつ日本独特の仕事に携われているのは大きな誇り。現場の確認、製作、設置まで一貫して作業を行う責任ある仕事に、やりがいを感じます。良い仕事を適切な値段で提供することを常に心がけています。

● 学ぶ

職業訓練校

● 磨く

技能検定:畳製作技能士1～2級

● 活かす

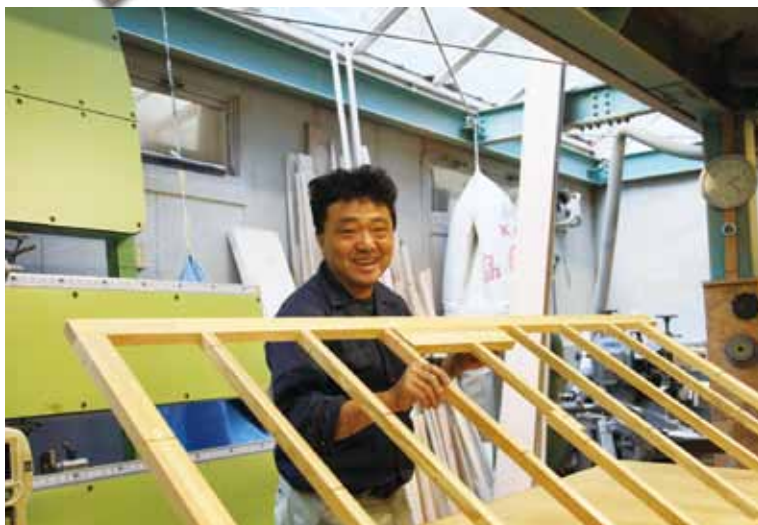
畳店で経験を積み、独立開業も可能。一般家庭から、寺社や重要文化財などの由緒ある場の仕事を担当することもある。



たてぐ 建具

住

シンプルなものから美しい装飾のものまで。ドアやふすま、障子、窓など開閉機能を持つ建具の製作や取り付けを行う。



ここに技あり!!

扉は少しでも寸法が合わなければスムーズな開閉ができません。建物に生じた歪みなどを見抜き、ミリ単位のズレも起きない

ように現場ですり合わせ、ストレスのない動きを可能とした建具を製作します。狂いのない細かい装飾を施した建具は目を見張る美しさを携えています。

建物の中で開け閉めするもののことを建具と言います。扉、ふすま、障子、戸などの木製建具の製作、設置、修理などを行います。建具は、その場所にぴたりと収まり、きちんと機能することが大切で、木材を組み合わせる際は、ミリ単位の調整を要する繊細な作業となります。

現場での取付け作業にも微妙な調整が必要で、精

密さと手先の器用さが求められます。建具製作の技術を活かし、家具の製作などを手掛ける職人もいます。

作業に使用する電動・手動の工具を扱う基本的な技術や知識を学ぶには、おおよそ3年程度の修行が必要です。細工物と呼ばれる障子などの製作には、さらに高度な技能が必要となります。

仕事の魅力

建具の技術は、幅広い用途に活用できるため、既存の技術を生かした家具作りなど、新たな分野への進出を積極的に行っています。技術を発展させて、様々なものを製作できることは、大きな魅力です。

●学ぶ

建築系の専門学校や職業訓練校

●磨く

技能検定:建具製作技能士1~2級

●活かす

建具店で経験を積み、独立開業も可能。寺社などの由緒ある場を手がけることもある。



とそう 塗装

住

住宅から高層ビルまで、様々な建築物の外壁や内装にペンキを塗ったり、吹き付けて模様を作るなど、建物の最終仕上げを行う。



ここに技あり!!

金属で出来た扉を木製に見せたり、ザラザラとした石のような質感を表現したりとお客様の希望に合わせて多種多様な塗料を

使い、塗装という作業を通して無機質な感触しか感じられなかった物に新たな魅力を持たせ、愛着ある製品へと生まれ変わらせるその技術は、まさに職人技です。

主な仕事は、住宅やビルなどの建築物の内壁、外壁、屋根などの塗装です。刷毛やローラー、スプレーなど様々な道具を使用して作業を進めていきます。粘度の高い塗料の仕上げにはコテも使用します。

建物の塗装には、単に色や模様をつけて見栄えを良くするためだけでなく、雨や湿気、日光などの外部刺激から建物を守る役割もあります。壁などの材

質や状態に合わせて、最適な塗料や塗装方法を選ぶ必要があります。最近は新たな塗料が次々に開発されており、技術だけではなく、素材や塗料に対する幅広い知識が求められます。

様々な色の塗料を混ぜ合わせて色を作る調色ができるようになって一人前と言えるため、色彩感覚も必要となります。

仕事の魅力

材料、塗料、面積、塗る厚さなど、要素によって仕上げ方が変わります。難しい仕事を一つの作品として、完成度の高さを意識できた時や、目に見える仕事としてお客様に喜んでもらえることに、大きなやりがいを感じます。

● 学ぶ

工業系の学校や職業訓練校

● 磨く

技能検定：塗装技能士1～2級
施工管理技士

● 活かす

塗装会社に勤務し、一般住宅からビルをはじめ、橋などの塗装を手掛けることもある。経験を積んで独立開業も可能。



とび 鳶

住

建設現場で足場を組み、建物の基礎になる柱を建てる。
「鳶がいなければ工事が始まらない」とも言われる。



ここに技あり!!

現場の中でも、高所を専門に作業を行う鳶職の無駄のない一つ一つの動作は、日々の鍛錬による賜物です。新春恒例の出初

式(でぞめしき)では、梯子乗りや木遣り(ぎやり)・まとい振込みなどの華麗で迫力ある鳶の伝統の技を披露し、観客を魅了します。

建設現場で高所作業を中心とした仕事を行うのが鳶職です。業務範囲は多岐にわたり、専門分野によって分類されています。「町鳶」は、基礎工事、足場工事、棟上工事から伝統工法の上屋(うわや)工事(仮設屋根の設置工事)、曳家(ひきや)工事(家屋の移動工事)まで行います。古くから行われてきた梯子(はしご)乗りなどの伝統技術も受け継いでいます。

ほかに、建設現場で足場を組む「足場鳶」、鉄筋構造の建物の骨組みを担う「鉄骨鳶」、建築物の内部に機械などの重量物を据え付ける「重量鳶」などがあります。見習いからスタートし、一人前、親方と経験を積んでいくのが一般的です。個人差はありますが、一人前と認められるには、おおよそ10年程度の修行が必要とされています。

仕事の魅力

上下関係の厳しい世界に思われがちですが、危険が伴う仕事のため、作業中は厳しく、休憩中は和気あいあいと、チームワークを大切にしています。上手く作れて当たり前の現場で、毎日懸命に仕事をしています。

●学ぶ

建設会社や鳶職人のもとで、見習いとして技術を学ぶ。ただし、18才未満は高所作業が禁止されている。

●磨く

技能検定:とび技能士1~3級
足場作業主任者、玉掛作業者

●活かす

建設会社や鳶職人のもとで、一般住宅から高層ビル、橋梁まで、専門分野に分かれた現場の親方を目指したり、出初式で梯子乗りなどの伝統芸も披露できる。

ばんきん

けんちくばんきん

板金 (建築板金)

住

一枚の金属板を、様々な形状に加工する。屋根や外壁の工事、雨どいやダクトの取り付けなどを行い、大切な建物を長く守る。



ここに技あり!!

精密に計算し、曲げる・叩くなどの変形を施し、接着剤を使わずに板同士をつなぎ合わせるなどして、単純な形の建築資材から

境内にある美しい装飾物まで、多様な形を自在に作ります。一度でも打ち損じるとやり直しが効かないため、作業には細心の注意を払います。

金属板を加工して、屋根、雨どい、外壁などの建築工事を行うのが建築板金工です。ステンレス板でダクト、フード、水回りなどの加工設置も行います。

板金工事は建物を雨風から守るためのもので、水が入らないように施工することが重要です。

特に寺社などの銅板葺屋根は、複雑な形に合わせて加工する高い技術が必要で、装飾物の製作は緻密

な作業となります。細かい作業ははさみ、ペンチ、ハンマーでの手作業、大きなものはプレス機を使用して加工します。

現場での作業を通じて一通りの技術を覚えるのに4～5年、一人前になるには10年程度の経験が必要とされています。

仕事の魅力

薄く伸ばした金属の板を、お客様の依頼に合わせて、いろいろな形に変形します。多くの道具を扱うため、怪我には常に注意しながら、作業に集中します。職人の技が生み出す複雑な加工品には、気品が漂います。

● 学ぶ

工業系の学校や職業訓練校

● 磨く

技能検定:建築板金技能士1～3級

● 活かす

板金店で経験を積み、独立開業も可能。一般住宅から工場など、幅広い建築物を手掛ける。寺社や茶室の銅板葺き屋根などの伝統的な仕事も請け負う。



ひょうぐ

表具

住

長い歴史が育んだ伝統の技術。ふすまや障子、掛け軸などの製作や修復を行う。住宅にある壁紙の張替えなども手掛ける。



ここに技あり!!

様々な刷毛を駆使して、脆く破れてしまいそうな紙を器用に扱い、水に弱い紙の汚れを洗い流す作業は高い集中力が必要です。

長い年月により色あせてしまった掛け軸や虫喰いやしみの入った古書画などが息を吹き返したかのように蘇るその技は、日本の歴史を支える貴重なものです。

布や紙を貼って、掛け軸、屏風（びょうぶ）、巻物、ふすまなどを仕立てる職人を表具師（または経師=きょうじ）と呼びます。

書画などを掛け軸や額に仕上げたり、傷んだ掛け軸を修復し、新たに仕上げる「表装」という仕事のほか、古書画の洗い修復、ふすまや障子などの製作・張り替え、最近では室内のクロス張りな

どの内装工事も行っています。

貴重な美術品や伝統的建築物の内装を手がけることもあるため、高度な技術と歴史や美術に関する幅広い知識が必要です。

一通りの仕事を覚えるのにおおよそ5年程度の修行を必要とし、10年程度の経験を積み重ねて、初めて一人前と言えます。

仕事の魅力

繊細な素材を扱うため、常に細心の注意を払います。お客様の希望を丁寧に聞き取り、理想の形に仕上げます。思いが込められている依頼品に、これからの長い歴史を歩んでもらう手助けができる。表具師の誇りです。

●学ぶ

表具店などに入って直接技術を学ぶ

●磨く

技能検定:表装技能士1~2級

●活かす

表具店で経験を積み、独立開業も可能。寺社からの依頼や歴史的価値のある重要文化財の修復・再生などを手掛けることもある。

暮らす

印章彫刻

屋外広告

写真

鍼灸マッサージ

スクリーン印刷



なぜ私たちは不自由なく暮らせるのでしょうか。

なぜ私たちは毎日を楽しく暮らせるのでしょうか。

それはだれかの努力の積み重ねでつくりあげたもの。

かけがえのないありふれた日々。

私たちの「暮らし」をつくっているのは、

職人気質のその仕事。



実印、銀行印、認印、法人印、ゴム印など、あらゆる印章を作る。
洗練された手彫りの技術が、人々の財産や権利を証する。



ここに技あり!!

数センチにも満たない面に複雑な文字を写し入れ、多数の彫刻刀を使い分け、深すぎず浅すぎず、コンマミリ単位の正確さで文

字を彫り進める手作業は相当な集中力を要します。キレ味のある引き締まった線や滑らかで伸びのある線は、機械では到底描ききれない手彫りならではの技術です。

手彫りで印章(印鑑)を製作するのが印章彫刻士です。手彫りのゴム印彫刻も扱います。印章は私たちの生活の中で重要な役割を担っています。実印や法人印は、それぞれの財産や権利を守る大切なものです。手彫りで仕上げた印章は世界に1つだけのもので、機械彫りのものと違って、偽造の心配がありません。

書体や文字の配置を決め、彫刻する文字を逆さ文

字で印面に書き、印刀という彫刻刀を使って文字を彫り上げます。数センチに満たない印面に彫刻刀一本で繊細な文字を彫る高度な技術はもちろん、バランスの良い美しい文字を書く美的センス、書体の知識と逆さ文字を書く技術なども要求されます。

これらの技術を習得するには、おおよそ10年程度の修行が必要とされています。

仕事の魅力

お客様の好みや性別などに合わせて字面を変更し、今の時代に合った字を彫ります。自分の個性を印章を通じて表現し、自らの技術一つで勝負するシンプルな世界は大きな魅力です。

●学ぶ

神奈川県印章高等職業訓練校

●磨く

技能検定:印章彫刻技能士1~2級

●活かす

印章店で経験を積み、独立開業も可能。技術競技会や技能コンクールなどで技術が認められれば遠方からの注文依頼もある。

看板、電柱広告、のぼり旗など、街中（屋外）で見かける様々な広告の製作や設置・管理を行う。9月10日は屋外広告の日。



ここに技あり!!

機械で印刷したかのような正確な文字・絵を手書きで表現する熟練された職人技と、手書きでは困難である複雑な構成のものを

コンピューターを駆使し、作成から印刷まで対応する多彩な技術力。伝統と最先端、両方の手法を用いて見る人に分かりやすい多種多様なデザインの広告を世に送り出します。

街中で見かける大型の広告看板、垂れ幕、ディスプレイ、ネオンサインなどの屋外広告物の製作・設置を行うのが屋外広告士の主な仕事です。

昔の手書きの看板から、近年はパソコンでデザインし、大型プリンターで出力したものが主流となっています。高所や狭い場所で、出力されたフィルムをスキージという道具を使い、しわなくきれいに貼

り合わせる技術に加え、デザイン力も必要です。基本的な作業はおおよそ1年程度で覚えられます。

屋外広告は法令や条例によって規制されている地域が多く、それらを習得し「屋外広告士」の資格を取るには実務経験3年が必要です。屋外広告士の資格があると、屋外広告業登録の際に必要な「業務主任者」となることができます。

仕事の魅力

お客様の要望は十人十色。臨機応変に満足した結果を残すためには、常に勉強し続ける必要があります。デザインから製作、設置など、様々な技術を身に付けるのは大変ですが、それが大きなやりがいにもつながります。

● 学ぶ

屋外広告会社などで技術を学ぶ

● 磨く

資格:屋外広告士(屋外広告業登録に必須の業務主任者となる)
技能検定:広告美術仕上げ技能士1~3級

● 活かす

製作した看板広告は、店舗や会社、ビル、イベントステージ、車両など、人目に付く場所に設置され、多くの人の目に触れる。



しゃしん 写真

暮

人生の節目のイベントや日々の生活の中で生まれる思い出を、
写真という形で人々に提供する。



ここに技あり!!

撮影に入る前に念入りなヒアリングを行い、会話の中からメッセージを読み取ります。髪の毛一本から服のシワ、衣類の袖

口や裾など細部にまで気を配り、光の加減や色調、現場の雰囲気を整えながらお客様の希望を出来る限り表現し、一瞬しかない最高の瞬間を捉えます。

写真師は写真館などのスタジオで、記念写真やポートレート、証明写真を撮るのが仕事です。七五三、入学式、卒業式、成人式、結婚式など、人生の節目のイベントに、大切な子供の成長や家族の記録として記念写真を撮影します。学校の行事や式典、イベントなどへの出張撮影も行っています。

ポーズや撮影場所を提案したり、被写体の表情や

個性を引き出すために、雰囲気作りを行うのも重要な仕事です。写真の技術と芸術的センスはもちろん、現在ではデジタルカメラでの撮影がほとんどのため、写真の加工などのパソコンの知識も必要です。

最初の数年間はアシスタントをしながら撮影技術の基礎を身につけ、一人前になるにはおおよそ5～10年程度の経験が必要とされています。

仕事の魅力

自らの技術で感動を創造し、その感動をお買い上げいただく、とてもやりがいのある仕事です。定期的にご来店いただけるお客様とは、赤ちゃんのときから成長を一緒にお祝いする関係を築くことなどもできます。

●学ぶ

美術系の大学、写真専門学校

●磨く

技能検定:写真技能士1～3級

●活かす

写真館やスタジオなどに勤め、技術やセンスを磨けば写真家として活躍することもできる。

しんきゅう

鍼灸マッサージ

暮

東洋医学由来。自然治癒力を高め、体のバランスを整える。はり、お灸、指圧によるマッサージを駆使して、人々の健康を支える。



ここに技あり!!

鍼、灸、あん摩マッサージを駆使し、臨機応変に、患者さんそれぞれの症状に合わせた最良の治療を施します。状態を見極め、無数に存在するツボを適

切に刺激することで症状を快方に向けるその技は、先人が大切に磨き、積み重ねた知識と経験があってこそ可能となる職人技です。

鍼治療を行う「鍼(はり)師」、お灸での治療を行う「灸(きゅう)師」、手を使ってマッサージを行う「あん摩マッサージ指圧師」の3つの免許を持つ人を「鍼灸マッサージ師」と呼びます。これらの免許を取得するには、専門学校などで3年以上修学後、国家試験に合格することが必要です。

鍼灸マッサージは、東洋医学の理論に基づいて行

う治療法で、患者の体の経絡(けいらく)上にある経穴(けいけつ=ツボ)に刺激を与え、全身の血液の循環を改善します。

手や指を使って患者の体の悪いところを感じ取り、人の体に300以上あるツボの中から、その原因となるツボを探りあて治療します。

仕事の魅力

一人前という言葉はなく、十人十色の要求に応えられるよう日々勉強です。仕事の良し悪しは自分の手腕次第。在宅治療の場では、施術を楽しみに待っている方も多くいます。お客様の喜ぶ姿に、やりがいを感じます。

● 学ぶ

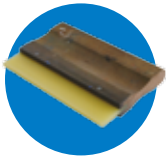
大学・専門学校(3年以上修学すると国家試験の受験資格が得られる)

● 磨く

国家資格(必須):鍼師免許、灸師免許、あん摩マッサージ指圧師免許

● 活かす

免許取得と同時に開業できる。鍼灸院や医療機関、リハビリ施設などに就職することもできる。スポーツ選手への治療や、一般家庭へ出張する在宅治療なども増えている。



いんさつ スクリーン印刷

暮

正式名称は、シルクスクリーン印刷。紙だけではなく、金属、ガラス、シリコン製品まで、平面・曲面を問わず印刷できる。



ここに技あり!!

一口に印刷といっても、ただ対象物に色を載せるというような単純な作業ではありません。印刷される製品の材質の見極め、

精密な版の製作、インクの調色、印刷する際の力加減など様々な要素が絶妙なバランスでかみ合ったときに初めて実現される緻密で繊細な技の結晶なのです。

スクリーン印刷は、版に貼られた絹 (=シルク) で作られた紗 (=スクリーン) の穴からインクを通して転写する印刷技術です。薬剤を塗った版に原稿を置き、光を当てると、インクを通したい部分だけ穴が開きます。製版された版の上にスキージと呼ばれる道具でインクを伸ばして印刷します。

紙はもちろん、ガラス、プラスチック、合成樹脂、

金属など、平面から曲面まで、素材・形状を問わずあらゆるものに印刷が可能です。また、インクに厚みがあり、発色が鮮明で耐候性が高いため、この技術は多くのものに活用されています。

個人差はありますが、インクに対する知識や製版、印刷の基本的な技術を習得するのに1~2年程度の経験を要します。

仕事の魅力

「水と空気以外は印刷できる」といわれるほど、素材を選ばず幅広い応用が利く印刷技術は大きな魅力です。室内サインやディスプレイなど、自分が手掛けた製品が市場に出ていることに、やりがいを感じます。

●学ぶ

印刷会社や工場に入って技術を学ぶ

●磨く

資格や免許などは特にない

●活かす

印刷会社や工場で経験を積んで、独立開業も可能。汎用性の高い技術のため、様々な業種との協働が期待できる。

職業はじめて物語

開港後にもたらされた外国文化の影響を受け、横浜から様々な職業が発展していきました。その多くは外国で行われていたサービスや製造技術などです。そんな港町横浜から始まった職業を探訪してみましょう。仕事の新たな魅力や、新しい発見がきっとあるはずです。

クリーニング

開港による外国人居留者が増え、和服が主流であった当時の社会に洋服の文化が浸透します。それに伴う西洋式洗濯の需要増加に起因し、1859年頃に本格的な西洋式洗濯業店が青木屋忠七氏により開業されたことからクリーニングの歴史が始まりました。

— 西洋洗濯どこからはやる

はやる横浜谷戸の坂 —

場所：中区谷戸坂登り口左側



— 和服しかなかった日本に

華やかな洋装が登場した元町 —

場所：中区みなとみらい線元町・中華街駅3番出口となり



洋裁

1863年、英国人ミセス・ピアソンがドレスメーカーを横浜で開業したことが洋裁業の歴史の始まりです。

和服の仕立など、国内で衣類に関する仕事を生業としていた職人たちが居留外国人に技術を教わり、「洋服」の文化が急速に人々の間に広まっていきました。

一 ザンギリ頭をたたいてみれば

理容

文明開化の音がする

場所：中区山下公園内

西洋文化が波のように舞い込んできた時代の1869年、洋風化が進む港町横浜に国内初の西洋理髪店が開業されました。その後発令された「断髪令」に後押しされ、日本人の髪形事情は大きく変化していきました。今では当たり前前の洋風の髪形で街を闊歩（かっぽ）するその様相は、横浜から始まったのです。



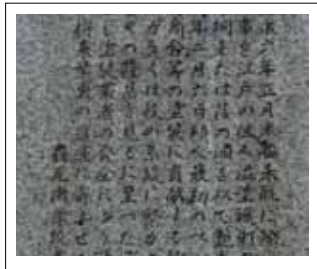
塗装

一「塗装工事業」という

仕事の歴史は横浜から始まった

場所：中区元町公園内

古代から塗るという作業は、しぶ屋、ぬし屋、提灯屋などが行い、鎌倉武家文化で開花してきましたが、塗装発祥については諸説あるものの、明治中期頃に、ここ横浜にて塗装工事の請負として業態を確立し、塗装工事業の始まりとなりました。



幕末開港の翌年1860年に米国人O.Eフリーマン氏が写真の文化を国内に流入させます。その後、日本人として初めて商業写真業を始めたのが下岡蓮杖氏です。

当初、「写真を撮ると寿命が縮む」という理由で日本人には受けが悪かった写真業ですが、時代の流れと共に徐々に浸透し、現代の写真文化が形成されました。

一 馬車道で日本の写真業は開花した

写真

場所：中区馬車道の県立博物館前



横浜市技能職団体連絡協議会について

技能職者の社会的、経済的地位の向上と後継者育成を目的に、衣食住の各職種の団体が集まって、技能職振興活動を行っています。現在、32職種35団体の技能職団体と青年部が加盟しています。

技能職振興活動として、市民に技能職者の優れた技能・技術を披露する「よこはま技能まつり」を毎年開催するなど、ものづくりのすばらしさを伝えています。また、青年部組織を設け、次代を担う青年技能者相互の交流と活動の場を提供するなど、後継者育成に努めています。

【事務局】 横浜市中区万代町2-4-7 横浜市技能文化会館内

【電話】 045-650-5811 ※月・水・金 13:00~17:00 (第2水曜日を除く)

【技能職団体一覧】 (平成27年4月現在：職種名五十音順)

	職種名	組合名	
あ	石工	横浜石工連合組合	
	印章彫刻	神奈川県印章業組合連合会	
	屋外広告	横浜市屋外広告美術協同組合	
	屋外広告	(一社)神奈川県広告美術協会横浜・横須賀支部	
か	型枠大工	神奈川県型枠工事業協同組合	
	瓦屋根	横浜瓦屋根組合	
	クリーニング	神奈川県クリーニング生活衛生同業組合	
	建築	首都圏建設産業ユニオン横浜支部	
	建築	神奈川土建一般労働組合横浜市協議会	
	建築士	全日本建築士会神奈川支部	
さ	建築大工	横浜市建設労働組合連合会	
	左官	横浜市左官業協同組合	
	写真	横浜市写真師会	
	鍼灸マッサージ	(一社)横浜市鍼灸マッサージ師会	
	スクリーン印刷	神奈川県スクリーン・デジタル印刷協同組合	
	西洋料理ほか	(公社)全日本司厨士協会関東総合地方本部神奈川県本部	
	造園	(一社)神奈川県造園業協会	
	染物洗い張り	横浜染物組合	
	た	畳	横浜畳組合連合会
		建具	横浜建具組合連合会
中国料理		神奈川県中日調理師会	
豆腐製造		横浜豆腐商工業協同組合	
塗装		(公社)神奈川県塗装協会	
鷹		横浜市鷹工業連合会	
煮豆惣菜		横浜食品煮豆惣菜組合	
は	配管	横浜市管工事協同組合	
	板金	横浜市板金組合連合会	
	美容	横浜市美容組合連絡協議会	
	表具	神表協横浜表装インテリア協会	
	婦人服	神奈川県洋装組合連合会	
や	浴槽設備	横浜浴槽設備組合	
ら	理容	横浜市理容連合会	
	料理飲食喫茶	横浜市料理飲食喫茶技能組合	
わ	和裁	神奈川県和服裁縫協同組合	
	その他	横浜マイスター会	
		横浜市技能職団体連絡協議会青年部	

「ハマの職人」の映像を経済局ホームページで公開中！

➡ 「ハマの職人」で検索

<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/koyo/kinpuku/meister/hamanoshokunin.html>

ハマの職人 ハンドブック
時代と共に生きてきた職人の技

平成 27 年 11 月発行

横浜市経済局雇用労働課

〒 231-0017 横浜市中区港町 1-1

電話 045-671-4098

ハマの職人 ハンドブック

